

令和8年度

20260401

板橋区立成増ヶ丘小学校

学校経営方針

学校は、子供たちにとって

- ・ 安心・安全で居心地のよい場所
- ・ 自己実現を図る場所

私たち教職員は、
子供一人一人を大切に
する指導をするとともに
子供一人一人の主体的な活動
を支援する
伴走者になる！

「共汗・継続・徹底」

共汗・・・一緒に取り組む

継続・・・続けて取り組む

徹底・・・とことん取り組む

70th Anniversary of the Founding of our school

3rd Ver. 1

～子供たちはこうして生き方を学びます～

批判ばかり受けて育った子は、非難ばかりします

敵意にみちた中で育った子は、だれとでも戦います

ひやかしを受けて育った子は、はにかみ屋になります

ねたみを受けて育った子は、いつも悪いことをしているような気持ちになります

心が寛大な人の中で育った子は、がまん強くなります

はげましを受けて育った子は、自信をもちます

ほめられる中で育った子は、いつも感謝することを知ります

公明正大な中で育った子は、正義心をもちます

思いやりのある中で育った子は、信仰心をもちます

人に認めてもらえる中で育った子は、自分を大切にします

仲間の愛の中で育った子は、世界に愛をみつけます

作：ドロシー・ロー・ノルト 訳：吉永 宏
「アメリカインディアンの教え」より

常に、子供にとって？

子供はどう考えているのか？

子供は何を学びたいのか？

子供は何を困っているのか？

という視点に立った教育活動を展開しましょう！

戻るところは、「子供にとってどうあるべきか」です。

「そこに愛はあるのか?!」（自身の教育観の押しつけになっていないか）

という視点をもち、

成増ヶ丘小学校の子供たちのために、質の高い教育の実現に向けて、

教職員一丸となり、「共汗・継続・徹底」で教育活動を推進していきましょう！

令和8年度 板橋区立成増ヶ丘小学校 学校経営方針

校長 高野 剛一

1 学校経営の基本的な考え方

(1) 公立学校としての役割と責任を果たす

公立学校は、保護者・地域の期待に応えるものでなければならない。公立学校として国の定めた法令や基準等に基づいた公教育を意図的・計画的・組織的に行うことによって、知・徳・体の調和のとれた心身共に健やかな人間の育成を目指す。また、国家・社会の形成者として必要な資質を養うことも重要な役割である。そのためには、規範意識の醸成など、社会において自律的に生きるための基礎・基本を身に付けられるよう発達段階に応じた適切な指導が必要である。

板橋区教育委員会では、「MIRAI SCHOOL いたばし 教育ビジョン2035」及び「MIRAI SCHOOL いたばし アクションプラン2028」を策定し、「教育は、人が幸せになるためにある」という理念の下、教育施策を掲げている。

本校では、公立学校が担う役割と責任を果たすとともに「教育ビジョン2035」及び「アクションプラン2028」の実現に向けて、教職員が一丸となって教育の質を高められるよう全力を尽くしていく。そして、多様な集団の中で、目的達成のために、自らの判断で主体的に活動、改善しながら行動できる子供を育てる。

(2) 本校の歴史と伝統を継承し発展させる

昭和31年に開校し、今年度開校70周年を迎える本校は、地域に愛され、地域とともに歴史を築いてきた。また、これまで本校教職員は、成増ヶ丘小学校の子供に質の高い教育を提供するため、研究奨励を受ける等の努力を積み重ねてきた。この歴史と伝統を継承し、さらに発展させていくために、私たちは、学び続け、変化し、成長し続けなければならない。また、板橋区コミュニティスクール(iCS)として、これまで以上に学校と保護者・地域等が連携・協働し、地域とともにある学校を目指す。

(3) 時代・社会の要請に応える（「令和の日本型学校教育」を目指して）

人工知能(AI)等の先端技術が社会生活にも取り入れられる Society5.0時代の中で、社会はますます予測困難な状況を迎える。急激に変化する時代の中で、学校教育には、一人一人の子供が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるよう、その資質・能力を育成することが求められている。

本校では、その資質・能力を「自走」と位置付け、自らの判断で、主体的に活動し、改善しながら行動できる子供の育成を目指す。そして、すべての教育活動をその資質・能力の育成に向けた取組となるように計画する。

(4) iCSとしての学校そして小中一貫教育

地域の宝である子供を誰一人取り残すことなく育むため、学校だけでなく、保護者、地域等、学校にかかわる全ての大人の知恵と力を集めた教育活動を推進し、「地域と共にある学校」を目指す。

また、義務教育9年間を見通した教育課程の実現に向け、学びのエリア内の学校との連携を図り、小中一貫教育を推進する。

(5) 70周年ふるさとプロジェクト

創立70周年であることを鑑み、本校及び地域を理解するとともに貢献する教育活動を取り入れ、カリキュラムマネジメントの視点で、教育課程に位置付けていく。

- ・集会、式典等
- ・生活科、総合的な学習の時間における地域について学ぶ学習活動
- ・記念誌作成
- ・教育目標の改定 等々

2 学びのエリアの教育目標

(1) 学びのエリアの目指す子供像

【自律】自ら学び、考え、判断し、責任をもって行動する児童・生徒

【協働】あらゆる他者を尊重し、思いやりと感謝の心をもって協働する児童・生徒

3 学校の教育目標

人間尊重の精神を基調とし、人と協調し思いやる心を持ち、広く国際社会において信頼と尊敬を得られる知性・感性・規範意識に富む心豊かな子供を育成する。そのために子供と学校を取りまく地域社会の実態に即して、次の教育目標を掲げる。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">○ やさしい子○ 考える子○ 元気な子 |
|---|

4 教育目標の達成に向けた最上位目標及び身に付けさせたい力

(1) 最上位目標

「多様な集団の中で、自走できる子を育てる。」

自走とは：目的の達成のために、自らの判断で主体的に活動、改善しながら行動すること
--

(2) 身に付けさせたい力

- ◎ 自己指導能力
- ◎ 他者尊重

【自己指導能力とは】

児童・生徒が、深い自己理解に基づき、「何をしたいのか」、「何をすべきか」、主体的に問題や課題を発見し、自己の目標を選択・設定して、この目標の達成のため、自発的、自律的、かつ他者の主体性を尊重しながら、自らの行動を判断し、実行する力（生徒指導提要 改訂版より）

5 目指す子供像

- ◎ 自ら考え、自己決定して行動できる子
- ◎ 多様な集団の中で他者を尊重し、協働する子

6 目指す学校像

最上位目標の達成及び目指す子供像の具現化に向けて、目指す学校像を以下の4つの視点で示す。

- (1) 子供が、主体的に学ぶ学校
- (2) 子供が、安心・安全な学校
- (3) 子供が、地域と共に育つ学校
- (4) 教職員が、笑顔で子供と向き合い、向上を目指す学校

(1) 子供が、主体的に学ぶ学校

「できた」「分かった」「楽しい」などの充実感を感じることが出来る場を意図的計画的に設定し、子供一人一人が、**自己決定をして課題解決に取り組んだり、多様な集団の中で協働的に活動したりするなど、主体的に学ぶ環境づくりを進める。**また、単に学習方法を変えるということではなく、**育てたい資質・能力の育成（成果）を目的とする「学びの質保証」を意識した授業づくりを推進する。**

① 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実及び学びの質保証

指導の重点

- ア 子供一人一人の実態（特性や課題）に応じた学習活動の展開
- イ 子供が自らの学習状況を把握し、主体的に学習を調整できるようにする。
- ウ Chromebook 等、ICT機器を活用した学習活動の展開
- エ 育てたい資質・能力の育成を明確にした授業づくり

※ アイウエの視点を基に、自己決定学習や自己調整学習等、子供が主体的に学び、教師は伴走者となる授業の構築を図る。

② 自他を認める人権教育の推進

子供が主体的に活動する中で、自分のよさとともに他者のよさを認められる子を育成するため、人権教育の推進を図る。

- ア 丘っ子活動（たてわり班活動）の充実
- イ 各学級における学級活動の充実
- ウ 自己肯定感を育むための温かく肯定的な指導の徹底

③ その他

すべての教育活動において、目指す子供像の具現化が図られるように、各校務分掌で計画し、提案、運営を行う。

- 【例】
- ・70周年ふるさとプロジェクト
 - ・特別活動（丘っ子活動・委員会活動・クラブ活動）
 - ・生活指導（きまり）
 - ・体育的行事委員会（運動会等）
 - ・情報教育（すららドリル）・給食（食育）・図書（読書の推進） 等々

指導の重点
(新規)

(2) 子供が、安心・安全な学校

人権尊重教育の理念を基本とし、**自発的・自律的、かつ他者を尊重しながら活動する場面**を意図的計画的に設定し、子供一人一人にとって、学校が安心安全で居心地のよい場所となる環境づくりを進める。

① 落ち着いた生活環境及び学習環境の整備

指導の重点

- ア 子供が、学校のきまりについて主体的に考え行動するための工夫
- イ 子供が意欲的に学習に参加できる環境の工夫（掲示物を適時適切に更新する等）

② 子供一人一人を全教職員で見守る体制

- ア いじめ、不登校等の未然防止、早期発見、早期対応
- イ 特別な支援が必要な子供等に対する校内委員会を活用した組織的な指導体制
- ウ スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の活用
- エ 特別支援教育の推進（通常学級及びなりおかるーム）

③ 子供の安全を第一に考えた緊急時の体制

- ア 安全点検、安全指導の徹底（月1回）
- イ 危機管理マニュアルの全教職員による理解の徹底
- ウ 避難訓練の確実な実施
- エ アレルギー対応
- オ 不審者対応
- カ 様々な感染症等に係る緊急時の体制

（3）子供が、地域と共に育つ学校

地域の教育力を活用した教育活動を推進し、子供一人一人が、地域を愛し、**主体的に地域に貢献**しようとする心情及び態度の育成を図る。特に、今年度は創立70周年を記念した取組を「70周年ふるさとプロジェクト」と名付け推進する。

① 地域の教育力を活用した教育活動

指導の重点

- ア 地域の教育力の積極的な活用
 - ・総合的な学習の時間の新年間指導計画の実施
 - ・生活科、総合的な学習の時間における探究的な学習活動の充実
 - ・地域について学ぶ学習活動について、6年間を見通して計画する。
 - ・地域を教科書（地域で学ぶ 地域に学ぶ 地域を学ぶ）とし、地域を愛する心と態度を養う活動の充実

② iCSの取組の推進

- ア コミュニティスクール委員会の充実
- イ 保護者、地域と連携した教育活動
- ウ 学校支援地域本部による地域を活かした教育活動の推進
- エ 教育活動の積極的な情報発信（学校だより・HP・学校公開等）
- オ 学校評価を活かした教育活動

③ 学びのエリアにおける教育活動の充実

- ア 学びのエリアを核とした小中一貫教育の推進
- イ 保幼小接続（スタートカリキュラム）の充実

(4) 教職員が、笑顔で子供と向き合い、向上を目指す学校

教職員一人一人が、自らの職責を自覚するとともに、仕事にやりがいを持ち、協働的に取り組むことができる環境づくりを推進する。

【目指す教職員像】

- ・児童理解に努め、温かく肯定的な指導をする教職員
- ・高い志を持ち、自らを律し、学び変え続ける教職員
- ・自身の仕事に責任を持ち、最後までやり遂げる教職員
- ・組織で仕事をすることを自覚し、互いに切磋琢磨し、協働的に取り組む教職員

① 授業力・指導力の向上

成増ヶ丘小学校の全ての教員が、高い意識を持ち、組織的・協働的に授業革新を推進する。

そして、令和の日本型学校教育の実現に向けた指導観の転換を図る。(伴走者としての教師)

- ア 板橋区授業スタンダードの徹底及び授業スタンダードSの推進
- イ 指導と評価の一体化を目指した授業の構築
- ウ 教育相談やコーチング等、子供に寄り添い温かく肯定的な指導力の向上

② 働き方改革の推進

教職員が、自らのワークライフバランスを意識して心身の健康に努め、笑顔で子供と向き合うことができる職場環境をつくる。

- ア 教育の質の向上のため、仕事の効率化と分業化を行い、働き方改革を推進する。
- イ 学級担任から学年担任という意識による学年運営
 - ・教科担任制(交換授業)・総合的な学習の時間の合同授業・学年のルールの徹底 等々
- ウ 時数管理を適切に行うことによって、教材研究等の時間を確保し、時間外在校等時間の縮減を図る。
 - ※ **今年度、余剰時数を大幅にカットしていることを鑑み、各教科等における単元の時数を適切に調整する(指導書通りでは終わらない)ことが必須である。**

- エ 職場内の心理的安全性を高め、業務を協働的に効率よく進めることができるようにする。

心理的安全性とは

組織の中で自分の考えや気持ちを誰に対してでも安心して発言できる状態のこと。上司や同僚に異なる意見を言ったとしても、人間関係が破綻したり、相手から拒絶されたりしないと感じる状態であり、アイデア、質問、懸念、間違いを率直に話しても罰されたり屈辱を受けたりしない。

- オ 「おたがいさま、おかげさま」の心で、教職員同士が助け合って職務に取り組むことができる環境をつくる。

③ 服務規律の遵守

- ア 服務事故防止研修の定期的な実施
- イ 体罰ゼロ宣言
 - ・人権教育及び児童理解に基づいた、温かく肯定的な指導を行う。
- ウ 教育公務員としての自覚を常に意識した行動(職務上の義務・身分上の義務)